

特別協賛社の  
取り組み紹介

# みやぎ米は 自然にも、やさしい。



「環境保全米」は、  
このマークが目印です。

安全・安心なお米「みやぎの環境保全米」とは

みやぎの豊かな水と土を美しく保ちながら、自然豊かな環境を守るために、農業や化学肥料の使用量を半分以下に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを行う。それが私たちの取り組み「みやぎの環境保全米」です。

とぎ汁を出さない無洗米も  
SDGsに貢献しているよ!



みんなのよい食プロジェクト

## 環境保全米のメリット

- 1 水や土を守り、生き物を守ることができる。  
農業や化学肥料の使用量を減らすことで、栽培している地域の環境(水・土など)への負荷を軽減させ、きれいで豊かな生態系の維持に貢献します。
- 2 安心・安全なお米をお届けできる。  
農業や化学肥料の使用量を減らすことは、全国の消費者に、より安全で安心なお米をお届けすることにもつながります。
- 3 安定した食糧供給に貢献できる。  
健康に育った稲は生命力豊か、しっかき根を張り、冷害などにも負けない米作りを目指することで、毎年安定して良質なお米をお届けすることができます。

うまくて、  
おいしい。  
みやぎ米

「みやぎ米」メッセンジャー ヤンドウィッチマン

ひとめぼれ 宮城を代表する主力銘柄  
ササニシキ 和食との相性抜群  
だて正夢 5周年 もちもち食感の新銘柄  
つや姫 艶があって粒ぞろい

うまくて、おいしい。みやぎ米

新米キャンペーン 2022

A賞 50名様 仙台南セット(1万円相当)

B賞 100名様 JA加工品 詰め合わせセット(5千円相当)

Wチャンス賞 200名様 環境保全米 450g

宮城県 及び キャンペーンについて詳しくは  
https://m-hozenmai.jp/ うまさにもちず みやぎ米 検索

JAグループ宮城



多賀城跡あやめ園…(多賀城市)  
中世の遺跡をしのぶ多賀城跡近くのあやめ園。緑とあやめの色々が美しい。  
(2022年6月撮影) by:雨あがりの濡れ落ち葉 さん



仙台市野草園…(仙台市太白区)  
野草園の広い芝生広場と青もみりが一体できていました。  
(2022年9月撮影) by:こぼ さん



サンファンパーク…(石巻市)  
水々の緑と海の中にもたたずるサンファン・パウティスタ号。今では幻の光景となってしまいました。  
(2021年9月撮影) by:ぼんだね さん



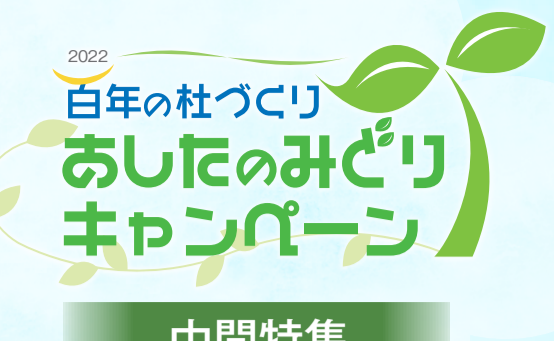
秋保大滝…(仙台市太白区)  
流れる水の勢いと鮮やかな緑が、夏らしさを感じさせてくれるので気に入っています。  
(2022年7月撮影) by:もも さん



金蛇水神社…(岩沼市)  
藤の花の下で優雅に泳いでいたコイが、とても印象的でした。  
(2022年5月撮影) by:よっち さん



角田市北部の田園地帯…(角田市)  
5月初旬に田植えが済んだ角田市北部の田園地帯。6月になると稲穂が青々と成長して見えます。  
(2022年6月撮影) by:自由人 さん



やまもとひまわり畑…(山元町)  
黄色一色のひまわり畑。心が癒やされます。  
(2022年8月撮影) by:ほし組 さん

きれいな花に癒やされます!

加美町…  
「みこちゃん」さんごと  
堀越三津子さん  
お孫さんと一緒に

色とりどりのパンジーが一面に咲き、色のコントラストがとてきれいなお気に入りの1枚です。ここやくらいガーデンには、四季折々の花を見に度々訪れています。つい最近もコキアやケイトウなど秋の草花を見に来ました。今はハロウィーンの飾り付けがされ、季節ごとに違った表情を見せてくれるのも魅力です。出掛ける時はいつも孫たちと一緒に、きれいな花に囲まれ孫たちと一緒にの時間に癒やされています。

やくらいガーデン…(加美町)  
(2022年5月撮影)



味ヶ袋用水御林…(加美町)  
見渡す限りの黄色の菜の花と青い空が対比して、雄大な景色を織りなします。  
(2022年6月撮影) by:chris さん



館矢間の自宅近辺…(丸森町)  
枯れ木がお気に入りの撮影ポイントで、春夏秋冬の写真を撮っています。  
(2022年8月撮影) by:丸井 森 さん



白石川堤一目千本桜…(柴田町・大河原町)  
3月の地震で新幹線は運休しましたが、東北本線を特色が臨時便として活躍しました。  
(2022年4月撮影) by:まるこ さん



やくらいガーデン…(加美町)  
広大な花畑。四季折々の花が楽しめる素敵なお庭です。  
(2021年8月撮影) by:まる さん



定義如来 西方寺 五重塔…(仙台市青葉区)  
仙台市内の桜が散り、ちょっと遅れての開花。今年は奇跡の1枚が撮れました。  
(2022年4月撮影) by:べろちゃん さん



三本木のひまわりの丘…(大崎市)  
太陽の方向に向かって咲き誇る一面のひまわり達と、好天時の青空とのコントラストが爽快。  
(2022年8月撮影) by:アインのダディ さん



七ツ森湖…(大和町)  
夏の空や雲が七ツ森湖の水面にきれいに反射していました。緑や水辺も多くて癒やされます。  
(2022年8月撮影) by:シト さん



みやぎ蔵王えぼしリゾート…(蔵王町)  
斜面一面の水仙が満ちてくるとです。  
(2021年6月撮影) by:ロア さん



鎌倉山…(仙台市青葉区)  
鎌倉山はツララの横断に寝ているため、ゴリラ山として知られています。新緑の美しいゴリラ山でした。  
(2022年4月撮影) by:けいちゃん さん



鶴巣付近…(大和町)  
出穂期の水田に二重の虹がかかりました。  
(2022年8月撮影) by:キートん さん



自宅の庭…(山元町)  
かわいらしく咲いたチューリップと、その背景の新緑がきれいでした。  
(2022年5月撮影) by:katumu さん



湯沼…(大崎市)  
鳴子温泉の奥にある湯沼。苦夏の季節には新緑、コバルトに染まり沼が光り輝いています。  
(2022年5月撮影) by:香雪 さん

## たくさんの投稿ありがとう! わたしの好きな 「みどりのある風景」

杜の都のみどりを未来につなぐことを目的に2009年にスタートし、今年14年目を迎えた「あしたのみどりキャンペーン」は、「みどりを楽しみ・育む」をテーマに展開し、WEBサイトでわたしの好きな「みどりのある風景」を投稿いただき公開しています。今回の中間特集では、その中から一部をご紹介します。50年後も100年後も、みどり豊かな杜の都であり続けるよう、身近なみどりに親しみ、楽しみながら、みんなで「あしたのみどり」を育てていきましょう。

※各写真の紹介文は新聞表記基準に合わせ、一部を修正している場合があります。

## 第57回 仙台市緑と花いっぱい花壇コンクール

仙台市では、市民、事業者、行政が協力して緑美しい杜の都をつくるため、「百年の杜づくり」を推進しています。本コンクールは、この一環として緑と花に囲まれた明るく住みよいまちづくりを推進することを目的に開催しています。

受賞団体決定!  
96団体(地域の部85団体、学校の部11校)から応募があり、審査の結果、入賞16団体と努力賞10団体が決定しました。

仙台市長賞 最優秀賞

地域の部

南中山三丁目公園愛護協力会(泉区)

仙台市長賞 最優秀賞

学校の部

仙台市立上杉山通小学校(青葉区)

テーマ…公園機能の活性維持

公園を囲むように植えられた花の生育も良く、苗の種類も豊富で見応えのある花壇です。手入れも行き届いており、テーマの「公園機能の活性維持」に貢献。維持管理は、地域住民による公園愛護協力が担っています。

テーマ…笑顔いっぱい、花いっぱい! 大好きな街のあいせつロード

花の種類が多く、立体感を出すような工夫が見られます。花壇の前では、毎朝、子どもたちのおはようございます!という声が響いています。活動は、小学校の教員と技師、環境委員の児童らにより行われています。

第57回 仙台市緑と花いっぱい花壇コンクール  
主催:仙台市、公益財団法人仙台市公園緑地協会  
共催:仙台市教育委員会、河北新報社

その他の受賞作品については、(公財)仙台市公園緑地協会のホームページをご覧ください。

## 仙台市認定 緑の活動団体 高森ふるさとづくりの会

仙台市泉区の「高森東公園」を拠点に、環境維持・整備活動を行っています。きっかけは20年前、手入れされず荒れた公園の姿に心を痛めた同会初代会長の加藤義治さんが、2003年から一人で草刈りや遊歩道の枝払いなどを始めたことでした。その様子を共感したメンバーが徐々に加わり、11年4月に正式に会として発足。現在は約20人の会員により、公園内の草刈りや植木のせん定、花壇づくり、遊歩道の整備・清掃、ベンチの設置・補修などの活動を続けています。地域の人が「気持ちの良い公園ありがとう」と声をかけられることも多く、会員の励みとなっているそうです。

さらに、春にはこいのぼりを掲げ、夏には広場で灯籠流しをするなど、地域の人々が楽しめる催しも行ってきました。「誰もが居心地が良く、気持ち良い場所になってほしい」という思いのもと、今後も活動を続けていきたいと考えています。

広場の除草作業。芝刈りの操作も手慣れたものです

池の周囲をめぐる遊歩道では、たくさんの樹木・草花など、四季折々の風景が楽しめます

## 仙台市認定 緑の活動団体 桂島緑地未来プロジェクト

仙台市泉区桂島地区の市民による「桂島緑地」の環境改善を目的に、2014年3月に設立。「彩ある自然豊かで、憩い、集う公園をつくりあげる」ことを目指し、現在、約40名のメンバーで、遊歩道や休憩所の除草・刈り込み、清掃作業、植栽作業など、緑地内の維持管理を行っています。ここ桂島緑地は、1992年、泉パークタウンの造成時に整備されました。自然豊かな森の中、上の堤と下の堤をめぐる遊歩道を歩いたり、水辺に咲くスイレンの花やカモの姿を楽しんだり、地域の人たちの憩いの場として親しまれています。

同会の活動の甲斐もあり、以前とは見違えるきれいな緑地に生まれ変わりました。また、会のメンバー以外でも、地域では遊歩道などのゴミ拾いをする人が増え、最近ではほとんどゴミが落ちていないそうです。「緑地をみんなの手できれいにしよう」という思いと行動が地域全体に根付いています。

手作業による除草も、公園に美化に欠かせません

緑豊かな桂島緑地。2つの堤を8の字に回る遊歩道は、散歩コースとして親しまれています

企画・制作 / 河北新報社営業局